

「第7回 ICT(愛して)とくしま大賞」にて「e-とくしま推進財団賞」を受賞

2017(平成29)年度の「第7回 ICT(愛して)とくしま大賞」にメディアデザイン学科から応募していた作品が「e-とくしま推進財団賞」を受賞しました。

この賞は徳島県在住の方が制作した、徳島の類いまれな自然・食・文化などの魅力を表現したデジタルコンテンツ作品の中で優秀作品を表彰するものです。

受賞作品は、徳島県美波町赤松地区で約100年前まで活動していた人形浄瑠璃座「赤松座」の復活プロジェクトを撮影したドキュメンタリー作品です。審査委員長の稲泉綾二先生(大阪国際大学大学院教授:専門 映像表現理論)から高評価をいただきました。

この作品『人形浄瑠璃座「赤松座」100年ぶりの復活』は、メディアデザイン学科の学生が制作したもので、下記URLからご覧いただけます。



受賞作品のワンシーン

受賞作品:『人形浄瑠璃座「赤松座」100年ぶりの復活』
<https://youtu.be/3js5GiNrnlG>

吉野川市美郷ほたる館にて廃校舎と旧診療所のリノベーションプランを提案

2018(平成30)年2月10日(土)、建築の知識や技術をいかして、建築デザイン学科の学生たちが地域の方々と交流を深める目的で行っている、リノベーションプランの提案を吉野川市美郷ほたる館にて行いました。



地元の方へリノベーションプランを提案

今回は1~3年生11人が考えた、①祭りなど地域の貴重な無形財産を保存するための「祭りに関する資料を展示できる施設」、②廃校舎を利用した「避難場所 兼 宿泊施設」などのプランを提案しました。集まった地域の方々との意見交換の場では多数の質問や意見が寄せられ、有意義な時間を過ごすことができました。今後はさらに話し合いを重ね、より良い施設を作るための提案をしたいと思えます。

これからもこのような取り組みをとおして、学生のスキルアップをすると同時に地域へ貢献できる活動を行っていきます。

食物栄養学科学生×茶茶家(チャチャハウス)「レンコンのシャキっしゅ」を販売

「レンコンのシャキっしゅ」は「学生×食品開発プロジェクト」で「忙しいママの栄養補給」をコンセプトに考案した商品です。このプロジェクトは食物栄養学科2年生の3人と茶茶家が連携、制作しました。

このキッシュは黒ごまを練り込んだタルト生地に、徳島県特産のレンコンや、じゃがいも・ほうれん草・ベーコンといった具材を加えて焼きあげ、チーズと釜揚げしらすをのせて焼き、仕上げました。

発案からレシピ作り、単価計算や利益率まで自分たちで考えました。味はもちろんレンコンのシャキッとした食感をいかすために試作を重ね、多くの方に助けていただきながら商品化することができました。

時間に追われて大変でしたが、とても貴重な体験ができ、将来を考える良い機会となりました。



◆開発メンバー

畠中杏菜・田村有紀・前田晏那(食物栄養学科2年)

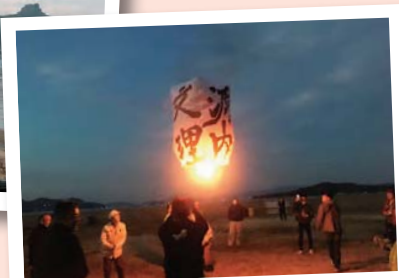
「平賀源内生誕の地さめきのランタン上げ」を開催

2017(平成29)年11月25日(土)、理工学部の水野貴之准教授と森本滋郎准教授を中心に「平賀源内生誕の地さめきのランタン上げ」を開催しました。

この取り組みは、さめき市の子どもたちに科学の面白さを伝える目的で平賀源内顕彰会・さめき市教育委員会と共同で行っている「平賀源内先生こども科学教室」の10周年記念行事です。

この記念行事には、計画段階から学生十数人が積極的に参加してくれました。会場はさめき市にご協力いただき、市役所隣接のグラウンドで実施しました。和紙で作製した高さ1.6mのランタンに灯油で火をともし徐々に浮かび上がり、地上から約30mの高さまで上げることに成功しました。

今後、本行事が志度の伝統行事となり、さらなる地域貢献につながるよう連携を深めていきたいと考えています。



ランタンに火をともし空へ飛ばしました